

# ミキシング時の感染対策のラウンド結果

院内感染対策委員会

2016年12月号

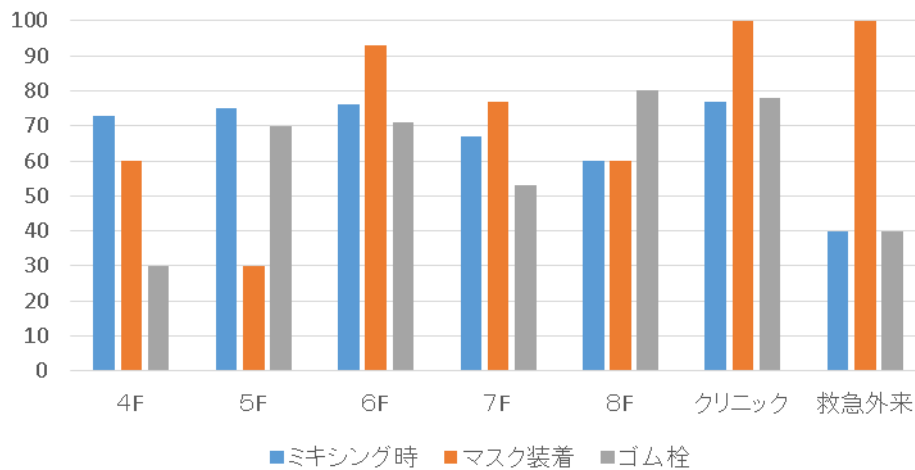
この間、点滴をミキシングする際の感染対策で

① ミキシング時の手指消毒 ② マスク装着状況 ③ 点滴のゴム栓の消毒 の3点について、実施状況を確認しました。

ラウンド期間：2016年6月～9月末

ラウンド場所：4F、5F、6F、7F、8F、クリニック、救急外来

点滴関連の感染対策 実施率



- ・各階での点滴数のばらつきはあるが、一定の数の観察は実現した。
- ・すべてのスタッフの観察の結果ではないので、数値に偏りがある可能性はある
- ・各階での平均では①のタイミングでは、約70%の実施状況であった。
- ・作業前の流水下の手洗いは実施されている
- ・狭い環境の中で実施しているため、1か所だけに設置されているだけでは手指消毒の実施につながらない。→対応必要
- ・作業中にゴミ箱をあける場面では、足ふみだが、手で蓋をあけてその手でそのままミキシングに入る場面が多く見られた。
- ・作業前のミキシング台の清拭がされていない部署があった。（終了後に清拭していた）
- ・ゴム栓の消毒には実施するスタッフにばらつきがあった。再教育必要（1ボトルごとに酒精綿を変える必要までは求めている）

① ミキシング前に清掃 ② サージカルマスクの装着 ③ ミキシング時の手指消毒 ④ ゴム栓の消毒  
実施を徹底しましょう

